

業務の新聞

第59号 2020年 6月 5日

ボーナス要求満額獲得

みなさん！「一律3.05か月支給」を求めて職場から取り組みを進めましょう。

☆すべての組合員が要求内容に基づいて『職場から』取り組みを進める。

⇒夏のボーナスについて、組合員に留まらず、他労組組合員や職場管理者と話をする。

⇒奥さんや子供たちの笑顔を思い浮かべ、2020夏のボーナスを『あきらめ』や『他人事』で終わらせない。

⇒会社経営陣に、当期純利益1590億円を産みだした社員の声を伝える。

⇒『我慢』だけでは“新型コロナウィルス”“収入減”には立ち向かえない。

☆JR東日本にかかるすべてのなかまたちとその家族のために、“今できること”をシッカリやりきる。

⇒お客様に『安心』をどのように伝えるか。

⇒大切なお金を本当に必要なところに使う。本当に必要なところに使われているかチェックする。

⇒グループ会社・パートナー会社やそこに働く仲間たちに思いを馳せる。こうした私たちの思いを職場から考え・論じ・発することがわたしたちのたたかいの第1歩になります。

5月12日に経営陣は“役員報酬”を自主返納することを決めたと報じられました。一部の社員の中にはこの行動を天からの声として“忖度”して自ら正当な賞与をあきらめガマンの殻に入っている方もいらっしゃるようです。

職場からシッカリ頑張りましょう！

“自主返納”って？

5月12日、JR東日本経営陣は役員報酬の一部を“自主返納”すると報じられました。

“自主返納”ってどういうことなの？
“自主返納”ってどれくらいの額なの？
“自主返納”ってそのお金はどこでどういうように使われるの？
聞きなれない言葉に？がたくさん出てきます。

みなさん！みなさんも“自主返納”しますか？新型コロナウイルスと最前線でたたかっている業種の多くでは、それに報いる“手当”が支給されています。どうのように思いますか？

新たな生活様式！

緊急事態宣言が解除され、私たちは「新たな生活様式」にチャレンジしています。

みなさん！不安はありませんか？疑問はありませんか？問題はありませんか？東京地本は東京支社に対し『緊急申し入れ』を発し、早急な対応を求めていました。残念ながら危機感の希薄さか問題意識共有の欠落なのか、現時点で東京支社の動きはありません。働きかけを強く継続します。

東日本ユニオン東京地本のすべての仲間とコンタクトを取り体調確認や職場での問題点や不安を聞き取りました。地本は、問題の解決と不安の解消に向け、重ねて取り組みを継続します。

みなさん！「これくらいは?!」では“コロナ”には勝てません。自分と家族・仲間たちそしてお客様のためにもうひと頑張りヨロシクお願いします。